

第 29 回高専情報処理教育研究発表会参加報告書

技術室 電気電子情報班
青田 広史

1. はじめに

第 29 回高専情報処理教育研究発表会に参加してきたので報告する。

2. 開催概要

【日時】平成21年8月27日～28日

8月27日（木）分科会、特別講演、懇親会

特別講演「学術情報基盤が拓く新たな教育・研究の姿」

講師 国立情報学研究所 所長 坂内正夫 氏

8月28日（金）分科会、産学連携シンポジウム

産学連携シンポジウム

題目 「情報産業会の技術者が語る『情報産業界で働く楽しみを知る』」

【会場】長野市生涯学習センター TOIGO

3. 報告

分科会は3会場に分けて開催され、主に、情報インフラ整備、教育用計算機、情報サービス開発に関する発表を聴講した。

特に印象に残った発表は以下の通りである。

- ・「災害時等連絡システムの開発」 舞鶴高専 片山氏ほか
- ・「津山高専のセキュリティ対策について」 津山高専 寺元氏ほか
- ・「ソフトウェア資産管理における本校の対応について」 弓削商船高専 長尾氏ほか
- ・「有明高専オープンスペースLANの運用」 有明高専 松野氏ほか
- ・「オープンソースソフトウェアを活用した端末室管理」 長岡高専 渡邊氏ほか

4. 所感

毎年参加させていただいている当研究発表会は、問題解決のための道筋を与えてくれるとともに、今まで気づかなかった問題に気づかせてくれる大会である。

最近のキーワードになっているのが「認証の一元化」。本校でも、中央サーバ、Blackboard、キャンパスアシスト、財務会計システムなど様々な情報システムを業務に活用しているが、それぞれのシステム毎にアカウント管理をしなくてはならず、非常に不便である。「認証の一元化」に関する報告は昨年ぐらいから増えてきており、本校でも問題解決に向けて検討していきたい。